



こんにちは!

市議員 井坂博文 です



連絡先/日本共産党北地区委員会：京都市北区紫野雲林院町 78 / 電話 432-3261 / FAX441-4968

明けましておめでとうございませ
本年もよろしくお願ひ申し上げます

1月5日、党市会議員団は市職員党後援会と合同で市役所東門にてこくた恵二国会対策委員長と一緒に初宣伝をおこなった。昨日4日の初出宣伝は、4月の知事選挙勝利を展望して民主府政の会としておこなったので、二日連続の朝宣伝となった。
18名の党議員が次々とマイクを握って「今年もよろしくお願ひします」と登壇する職員に新年のあいさつをおこなった。18名がそろって訴えるところと壮観である。私は幹事長として司会役をつとめた。そ



核兵器禁止、廃絶へ決意を固める

被爆者を励ますクリスマス平和パーティー

12月23日、毎年恒例イベント「被爆者を励ますクリスマス平和パーティー」が開かれ、被爆者60人と家族や被爆2世3世合わせて約100人が参加した。日本共産党から、私と井上哲士参議院議員、浜田府議が参加し、井上参議院議員が代表して、国連で核兵器禁止条約採択の現場に立ち会った感動を紹介してあいさつ。
嬉しかったのは、被災者懇談会が被爆50周年記念に製作したビデオ「オマールさんを知っていますか」に、当時小学生で出演した田原美法（みのり）さんがプロの津軽三味線奏者としてビデオ上映をバックに演奏と民謡を披露してくれたこと。そしてなによりも元氣な被爆者のみなさんと会えたこと。
被爆者は高齢化が進んでいるが、核兵器禁止と廃絶に

12月19日、焼却灰溶融施設訴訟における住友重工との和解が正式に成立し、154億円の和解金が本市に支払われ、プラント施設の解体撤去作業は全て本市に委ねられることになる。

21日、党市会議員有志で溶融施設と東部山間埋め立て処分場の視察を行った。担当者から改めて施設の説明を受け、事故やトラブルの起きた箇所と原因・背景をリアルに聞き取りし、「和解金残額の9億円で可能なのか」を詰めたやりとりした。担当者は、「すぐに解体工事に入る

向けた運動の前進を確信にして、「来年も元氣にお会いしましょう」とお互いに声を掛け合って散会した。

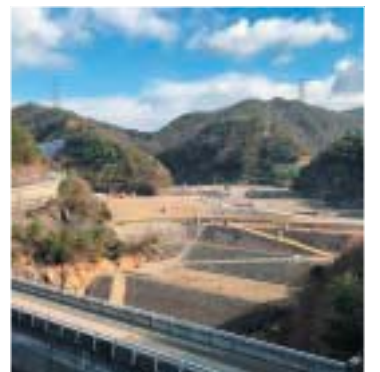


「民泊」と京のまちを考えるつどい

☆1月27日(土) 13:30~
☆ルビノ京都堀川・平安の間
参加費無料、ぜひご参加ください。

灰溶融に頼らない ゴミ減量を

のは難しい。労働単価を見ながら活用計画と合わせて考えていく。場所的により集客は望めない。しばらく一服させて欲しい。あまり意欲を感じられない。
外に出て改めて施設を見上げる。80メートルの煙突が突っ立っており、解体されるのを



待っている。虚しい景色だ。そのあと、埋め立て処分地を展望台から見学。あと50年は持つ見込みだ。さらに延命させるために、新たな溶融施設ではなく、ゴミ減量を進める決意を新たにしたい。

「君たちはどう生きるか」

「君たちはどう生きるか」漫画バージョン。年末の終いキンカン行動に参加し、一気に読みきった。

80年前の1937年、吉野源三郎さんが発刊された不朽の名作の復刊。私も民青に入った大学時代に読み、「ものの見方、考え方」の指針になった本の一つだ。少し難しいところもあるが、漫画とセットで一気に読める。

時代や若者を取り巻く状況は当時とずいぶん変わったが、「自分とは何か」「どう生きるのか」に悩むのは常に若者だ。

おじさんが、友人との約束

を破ったコペル君に「僕たち人間は、自分で自分を決定する力を持っているから過ちを犯すが、過ちから立ち直ることができると励ましていく。また読者には「君たちは、どう生きるか」と投げかける熱い思いは、80年たってもまったく色あせていない。8日の成人式を迎える若者に、この思いを心をから呼びかけたい。

